

**テーマ 33**

土壌診断のデータベース化による農作物の品質向上の検証（袋井市）

**1. 解決したい課題の内容**

- ・袋井市の主要作物として、米、お茶があるが、農業者の高齢化に伴い、農業従事者が年々減少し、耕作放棄地の増加等が問題となっている。
- ・耕作放棄地の解消支援の課題として土壌状態の把握がある。特に作物の転換（転作）や耕作放棄地の再生には、該当農地の土壌診断を行い、診断による栽培に最適な作物の選定や土壌改良の最適化が重要であるが、費用面や技術面などから事業が積極的に進んでいないことが課題である。
- ・また、耕作放棄地で改めて農業を開始する場合であっても、土壌状態の把握が必要であり、前述のとおり費用面や技術面などが、耕作放棄地での開拓における障壁となっている。

**2. 実現したい目標について**

- ・土壌診断の結果を基に、栽培に最適な作物や土壌改良の最適化について見える化することで、当該農地でこれまで生産されていた作物の高収量・高品質化に資する効果や市場ニーズの高い農作物への転作を促進する。
- ・市内の主要エリアや耕作放棄地等の土壌診断や診断結果による分析を行い、栽培可能作物を含めた分析結果について、データベース化（可視化・一元化）を行う。
- ・新規就農者や若手農業者等へ情報提供することにより、当該農地で生産（作付け）をしてもらい、耕作放棄地を減少させるとともに農地利用の活性化を図る。

**3. 必要とする技術について**

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・土壌診断技術（資格は不要）
- ・診断内容をまとめるシステム

**4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について**

希望時期は特になし。

内容は以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・土壌診断を実施し、とりまとめる一連の流れを実施・検証

**5. 課題に関連する事業のホームページ URL**

・袋井市「耕作放棄地解消に向けて」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/15/2/nogyoiiin/1422535816195.html>